

クラシノソコアゲ応援団！ RENGOキャンペーン

介護離職、 させない社会を！

安心の介護保険制度の確立と
介護人材の処遇改善実現を求める
11.11 市民集会



RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。

介護保険制度は、介護をしながらでも働き続けられる社会のために、高齢になっても住みなれたまちで安心して暮らし続けられる社会のために、無くてはならないものです。ところが政府は、社会保障の財源確保を急ぎ、介護サービスの対象を狭めようとしています。もしそうなれば、サービス利用者の生活は行き詰まり、介護のために離職する人がさらに増えかねません。2018年度介護報酬改定も大きな懸念事項です。また、介護で働く人の賃金は、その担っている仕事の重要さと責任に見合っているとは言えません。

本集会では、日本退職者連合や、介護に関わる様々な団体や個人で組織されている「介護離職のない社会をめざす会」と連携し、安心の介護保険制度づくりと介護人材確保を政府に求めています。

【プログラム】

主催者あいさつ：

逢見 直人（連合事務局長）

基調報告：

樋口恵子（高齢社会をよくする女性の会）

介護サービス利用者・高齢者からの訴え


介護職場からの訴え

集会アピール採択

がんばろう三唱



11月11日（金）
18:30～19:30
ニッショーホール
（日本消防会館2F）
東京都港区虎ノ門2丁目9番16号

主催  日本労働組合総連合会（連合）

協力 日本退職者連合、介護離職のない社会をめざす会

■今、こんなことが検討されています！

要介護度1, 2の人への給付削減

訪問介護のうち生活援助を地域支援事業へ移行

福祉用具・住宅改修の自己負担化

利用者負担の引き上げ（高額介護サービス費の上限引き上げ、補足給付の資産勘案強化など）

介護納付金の総報酬割化

被保険者範囲の拡大

など

■介護離職のない社会をめざす会とは？

「介護離職のない社会」の実現のため、横断的なネットワークを形成し、現状（ニーズ）の分析とともに有効な策を持ち寄り、政策提言や法整備に向けた啓発やロビー活動などを行うこと目的としています。

[代表] ※敬称略

高木 剛（全労済協会）

樋口恵子（高齢社会をよくする女性の会）

牧野史子（介護者サポートネットワークセンター・アラジン）

逢見直人（連合）



[参加団体]（2016年3月23日現在）

中央労福協、全労済協会、全国介護事業者協会（民介協）、市民福祉団体全国協議会（市民協）、高齢社会をよくする女性の会、wiwiw、男性介護者と支援者の全国ネットワーク（男性介護ネット）、日本ケアラー連盟、介護者サポートネットワークセンター・アラジン、全国介護者支援団体連合会、介護離職防止対策促進機構、UAゼンセン、自治労、連合 ほか

（団体：16組織、個人：1名）



【会場アクセス】※右図参照

●東京メトロ銀座線

虎ノ門下車 2番・3番出口徒歩5分

●東京メトロ日比谷線

神谷町下車 4番出口徒歩10分

※駐車場はございませんので、ご注意ください。

【お問合せ】

連合 生活福祉局 担当：長江

TEL :03-5295-0523/FAX : 03-5295-0546

Mail : jtuc-seikatsu@sv.rengo-net.or.jp

【お申込み】

以下にご記入の上、FAXにてご送付をお願いいたします。

■団体名：

_____名

■ご連絡先：

お名前：_____

TEL：_____